

中野区教育委員会会議録

平成29年第27回定例会

平成29年10月20日

中野区教育委員会

平成29年第27回中野区教育委員会定例会

○日時

平成29年10月20日（金曜日）

開会 午前10時00分

閉会 午前11時30分

○場所

中野区立武蔵台小学校

○出席委員

教育委員会教育長 田辺 裕子

教育委員会委員 小林 福太郎

教育委員会委員 渡邊 仁

教育委員会委員 田中 英一

○欠席委員

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

○出席職員

教育委員会事務局次長 横山 俊

教育委員会事務局副参事（子ども教育経営担当） 高橋 昭彦

教育委員会事務局副参事（学校再編担当） 板垣 淑子

教育委員会事務局副参事（学校教育担当） 石崎 公一

教育委員会事務局指導室長 杉山 勇

教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当） 石原 千鶴

武蔵台小学校校長 戸崎 晃

上鷺宮小学校校長 堀 聡明

北中野中学校校長 関 年隆

○書記

教育委員会事務局教育委員会担当係長 金子 宏忠

教育委員会事務局教育委員会担当 立花 加奈子

○会議録署名委員

教育委員会教育長 田辺 裕子

教育委員会委員 渡邊 仁

○傍聴者数

22人

○議事日程

[協議事項]

(1) 小中連携教育と地域との関わりについて（指導室長）

○議事経過

午前10時00分開会

田辺教育長

おはようございます。定足数に達しましたので、教育委員会第27回定例会を開会いたします。

さて、本日開会いたします「地域での教育委員会」は、中野区において開かれた教育行政を一層推進するために、区役所以外の場所に会場を移して教育委員会を開催しているもので、本日で32回目の開催となります。

会議の進行につきましては、通常の教育委員会と同じように進めてまいります。本日の協議事項の「小中連携教育と地域との関わりについて」は、協議テーマに関連して小中学校の校長先生や地域で活躍されている方もお招きして、お話を伺う予定でございます。

また、会議を一旦休憩し、協議テーマに関して傍聴の方のご意見をいただく時間も設けたいと思います。その後、会議を再開し、いただいた意見も参考にしながら引き続き協議を進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

ここで、傍聴の許可についてお諮りいたします。

教育委員会の会議における傍聴人の数については、中野区教育委員会傍聴規則第3条により、20人以内と定められております。

本日は傍聴を希望される方が多数お見えになる予定ですので、同規則第3条ただし書きの規定により、20人を超えて傍聴することを認めたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

田辺教育長

ご異議ありませんので、20人を超えて会議を傍聴することを認めることに決定いたします。

ここでお諮りいたします。

本日は、株式会社ジェイコム中野から、取材のため教育委員会の会議を撮影したい旨、申し出がありました。会場を撮影する場合には、教育委員会の承認を受ける必要があります。これを承認したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

田辺教育長

ご異議ございませんので、会議の撮影を承認することに決定いたしました。

なお、撮影に当たっては、会議に差し支えないように行っていただきますようお願いいたします。

また、傍聴の方を撮影する場合には、個別に了解を得てから行っていただきますようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

本日の会議録署名委員は、渡邊委員をお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりです。

<協議事項>

田辺教育長

「小中連携教育と地域との関わりについて」をテーマに協議をいたします。

教育委員会では、平成25年度から平成31年度までの7年間において、小中連携教育の移行期、充実期、発展期の三つの段階による取組を行ってきております。初めに事務局から、今までの小中連携教育の取組について説明をさせていただきます。その後、学校や地域での具体的な取組を紹介させていただいた後、教育委員の先生方からご意見を伺い、協議を進めていきたいと思っております。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

指導室長

それでは、私から小中連携教育について、概要をご説明いたします。

ページをおめくりください。小中連携教育につきましては、中野区の重点施策として取り組んでいるところです。本日は、中野区の学校教育の現状、それからそれを踏まえた上での中野区の小中連携教育について簡単にご説明をいたします。

ページをおめくりください。中野区の公立小・中学校の状況ですが、小学校23校、中学校11校でございます。小学校の児童数は約9,000名、中学校は3,000名ということでございます。

中野区では本年度、中野区教育ビジョン（第3次）を策定いたしました。「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」ということで、目指す人物像を四つ掲げまして、それに向けて様々な取組を行っているところでございます。

この中野区教育ビジョンを推進するために、事務局では「学力の向上」「体力の向上」「豊かな心の育成」を三つの柱としまして取り組んでおります。この三つはそれぞれ独立しているものではなく、重なり合い進んでいると認識しているところでございます。

次のページをごらんください。特に教育ビジョンの達成といたしまして、大きく学校再編と小中連携教育というものを進めているところです。学校再編は、教育環境の改善、小中連携教育は教育内容の充実という視点となっております。

ページをおめくりください。学校再編につきましては、望ましい規模の学校、それから通学区域の整合性、そして施設・設備等の整備を進めるという視点に立って進めているところでございます。特に大きく関連するところでは、集団の通学区域の整合性では一つの中学校に2から3校の小学校単位での進学を進める。これが小中連携教育とも大きくかかわっているところでございます。

それでは、具体的に中野区の小中連携教育についてご説明いたします。小中連携教育が求められる背景といたしましては、中1問題、いわゆる中1ギャップといわれているものの対応が一つございます。こちらは中学校へ進学するに当たって、子どもたちの様々な課題といえますか、問題が上がってきているということでございます。

次をごらんください。そこで、小中連携教育のねらいといたしまして、中学校への進学の不安の解消や、中学校への憧れ、そして円滑な接続、こういうものを目指しながら、先ほどお示しいたしました体力の向上、学力の向上、豊かな心の育成の視点に立って取り組んでいるところです。

教育長からも説明がございましたが、小中連携教育のスケジュールといたしましては平成25年度をスタートといたしまして、移行期、充実期、発展期と位置づけています。移行期では、まずは中学校区の状況において、その趣旨に狙う取組、充実期では整合性を見据えた取組、そして発展期では整合性が図られた後の取組を行うということで、現在は平成29年度、発展期の1年目を迎えているところでございます。

それでは、具体的な取組例について簡単にご説明いたします。取組は大きく二つに分かれておりまして、オール中野として全ての中学校区で取り組んでいる取組と、それぞれの中学校区の特色を生かしながら、主体的に取り組んでいく取組ということでございます。

まず、オープンキャンパスでございます。年3回、小学校6年生が中学校へ行き、授業や部活動の見学・体験をするという活動でございます。これによって小学生が進学への安心感、中学校への憧れ、そして中学生には小学生を受け入れるということで、中学生としての自覚や自己有用感を味わわせたいと考えています。また、乗り入れ指導というものを実施しています。これは、授業に小学校教員が中学校へ行って参加をし、中学校教員が小学校へ行って参加をするというものでございます。このことによって、子どもたち様々な

校種の授業を経験する、また、味わわせるとともに、小学校教員・中学校教員の交流を図りながら、いわゆる学習指導の連続性についても触れているところです。また、中学校・小学校が連携を図る意味で小中連携教育協議会を実施し、普段の授業について参観をしたり、テーマを定めて意見交換などを行っています。

また、小中連携教育を推進するに当たっては、小中連携教育モデル校を実施し、進めています。スライドにありますように、平成25年度から中学校区で進めておりまして、本年度は中野中学校区でそのような形で進めているところです。また、先ほど申しましたように、中学校区独自の取組も進めています。挨拶運動や夏季休業中のリトルティーチャーということで補習学習等、この後もいろいろと触れていただくところもあろうかと思いますが、スライドにお示しした内容で進めているところです。

これらの取組を進めているところですが、現在、小学生からは進学への期待感、それから中学生はやりがい、そして教員相互の深まりなども見られておりまして、落ち着いた学校生活を送れる基礎地盤ができていると認識しています。小中連携教育だけが要因というわけではありませんが、中野区の学力調査、区の学力調査も平成26年度から今年度に至って向上している状況がありまして、小中連携教育を含めた教育活動の充実が図られていると認識しているところです。

今後は、小中連携教育のみならず、就学前の保幼小中連携教育を提供しながら、家庭・地域との連携を図り、より充実した取組を進めてまいりたいと考えております。

報告は以上です。

田辺教育長

続きまして、本日の会場である武蔵台小学校の戸崎校長、連携を行っている上鷺宮小学校堀校長、北中野中学校の関校長から、学校での取組事例などを紹介していただきたいと思っております。

校長先生方、よろしく願いいたします。

戸崎校長

武蔵台小学校、校長戸崎でございます。では、この3校を含めまして、地域とのかかわりについて少しお話をさせていただきます。

武蔵台小学校、上鷺宮小学校、北中野中学校、小学校から中学校へ学びの連続性を構築するということをテーマに、9年間を通して3校で指導法などの情報共有を図るということを考えてまいりました。その中で、思考力、表現力、判断力を、子どもたちに9年間か

けて育てていきたいというふうに思っております。これからお話しするのは、大きく5本の柱がございます。学校経営、それから算数・数学・理科、道徳、規律、交流、この5点でお話をさせていただきます。

まずは、学校経営です。こちらは校長3人の連携でございます。地域で育てる児童・生徒像に向けて教育目標、教育課程届、学校経営方針における3校の理解と推進を図る、そして小中連携校としての基礎を構築し、取組を持続させるためのプランを持って取り組んでおります。

1枚おめくりください。幾つかあります。まずは、学校長として3人で小中連携教育の取組の方針を策定する。そして、北中野中学校におきましては、学校教育目標を改定いたしました。また、後ほど触れます。また、学校経営計画、それから校長交流、そして教育課程、学校経営方針の重点項目を共通化ということを行ってまいりました。

1枚めくっていただきますと、こちらが北中野中学校の教育目標でございます。武蔵台小学校、上鷺宮小学校の教育目標に含まれる「考える」「やりぬく」という言葉を、中学生に向けた「自ら考え」そして「実践できる」というふうに言葉を変えて、教育目標を第一文に入れて、教育目標を改定していただきました。これらのように、3校が様々な育てたい生徒像、児童像を、教育目標をしっかりと設定して行っていく、そういったことができてこの連携3校でございます。

続きまして、こちらは非常に見にくいのですが、小さくて申しわけございません。広げたりしていただければと思うのですが、学校にはそれぞれの学校の学校経営計画がございます。それにプラスしまして3校での学校経営計画、小中連携のための教育のための計画というものを設定いたしました。教育目標から始まり、3校で育てる子ども像、そして目指す学校、そのための基本方針などです。そういったことを3校共通にして取り組むということも行ってまいりました。

では、1枚めくってください。こちら、お示ししましたのは、本年度平成29年度のそれぞれの学校から出る教育課程、第3表にあります第4の「小中連携教育」という項目についての文言でございます。3校が統一し、同じものを(4)まで記載し、(5)からはそれぞれ学校の独自の取組も付け加えるということで教育課程を編成いたしました。

では、1ページめくってください。次に、算数・数学・理科についてお話しします。特に学力調査におきましても、国語・数学・算数などは様々な成果があらわれているところですが、理科に関しては少しその伸びがいま一つであるということで、この3校でもこの

理科も含めて研究もしてまいりました。9年間を見通した学習指導、まず、武蔵台小学校と上鷲宮小学校、その小学校2校での学習展開やノートの書き方などが違ってしまうと中学校に行ったときに余計混乱する。まずはこの小小連携をしっかりと、合わせていこうということを1年間かけて行いました。その後、中学校とも交流し、様々なことを工夫いたしました。

例えばですが、小学校では理科それから算数において、学習展開、学習の流れを共通化いたしました。これら、ここに書かれてある問題を解決していくその過程をしっかりと共有化して、2校で学習・授業に臨んでおります。

めくってください。次は、ノート指導です。こちら、算数をあらわしております。まず最初に、ノートは見開きで2ページ使います。まず最初に問題を書く。この「問題」と漢字で書いてありますが、学年に応じて「も」と平仮名で丸を書いたりとか、そういった工夫があります。その次に課題、そして自分の考えで解決してみてもとめがある。そして練習というふうに、この流れも共有化しております。

次は理科です。理科につきましては、まず問題があり、それからどうなるのだろう、どうしたらいいのだろう、その予想・仮説を立て、それを解決するための計画を。つまり、実験であれば実験の計画を書く。そしてその結果を書き、考察をし、結論付けていく。その流れを、先ほど示しました学習の流れを、ノートでもしっかりと書き方を統一していくという指導を行っております。

次に、道徳です。道徳におきましては、教科化されるということもございます。様々な考え、話し合うということを中心に道徳を改善してまいりました。また、その道徳の年間指導計画を立てるに当たり、地域の皆様、町会を初め、青少年育成の皆様も初め、多くの皆様方、そして保護者の皆様方にそれぞれの中学校、小学校道徳の価値を全て書きまして、この地域で育てたい子どもたちに今、最も必要、最も身につけてほしいものは何でしょうかということ丸をつけていただいて、その集計をノートに工夫しております。それが次のページです。

主として自分自身にかかわることにつきましては、善悪の判断、自律、自由と責任。主として人とのかかわりに関することにつきましては、親切、思いやり。主として生命や自然、崇高なもののかかわりに関することについては、生命の尊さ、こちらの項目がいずれも高く、全ての皆様方が願っている子どもに身につけてほしい、こう育ててほしいという願いというふうに受け取り、我々3校で年間指導計画を見直しました。35時間ある中の

道徳の中で、これらのものを重点的に複数回取り扱う。その配置も考えて計画を立てました。

次が、規律でございます。規律、こちらも2校の小学校が中学校に上がるに当たり、まずは小学校2校の規律、ルールが違っては戸惑うだけであるということで、上鷲宮小学校と武蔵台小学校それぞれ決まりがあったのですが、同じにいたしました。それまでは、例えば「武蔵台小学校のきまり」「上鷲宮小学校のきまり」という名前だったのですが「みんなのきまり」という名前に変え、ほぼ共有化しているのです。例えば休み時間のルールですとかどこで遊んでいいとか、学校独自のものは違いますが、ほぼ全ての項目について共有化しております。それを更に発展して行って、北中野中学校で「あじみこ」というものがございます。挨拶をしっかりする、時間を守る、身だしなみ、それから正しい言葉遣い、そういったことも含めて小学校のほうで生活ルールを決め、子どもたちとともに守っているところです。

続きまして、給食指導もでございます。こちらにつきましても、中学校1年生になると、北中野中学校の給食時間は30分間です。非常に短いので、配膳ができるのだろうか、食べ切れるのだろうか、そういった部分がございます。そちらのアンケートで子どもたちが不安に思っていることもありましたので、実際に教員が行ってみたり、また、来てもらったりして、その配膳の仕方・方法なども統一化するように、小学校のうちからそれができるようにということを考えております。ちなみに、上鷲宮小学校の給食時間が40分間です。昨年度までは本校の武蔵台小学校が45分だったのですが、今年度から武蔵台も40分というふうに切りかえております。また、清掃指導につきましても、3校連携して地域の清掃というものも行っております。

では、ページをめくっていただきまして、交流です。先ほど指導室長からもお話ありました、乗り入れ指導、オープンキャンパス、それから行事の参観です。こちらの写真は、北中野中学校文化発表会の合唱コンクールのリハーサルを小学生が聞きに行っているというものです。当日は、場所が遠いので行けないのですが、こうやって憧れのというのですか、何年かたった後の、未来の自分たちというものを肌で感じさせていただける、非常にいい機会になっております。

めくっていただきまして、本地区には北中野中学校区地区懇談会というものがございます。非常に多くの団体の皆様方、36でしたか、入っていただいております。次世代育成委員の方々を初め、様々なところでご尽力いただいて懇談会が開かれておりますが、めくっ

ていただきますと「懇活でベストパートナーをみつけよう」というテーマで開催されました、我々が画用紙にこんなことができますよ、うちの学校はこんなことが必要ですというのを見せながら、様々な方々とお話をして、そこでつながりが生まれていくということです。この懇活で生まれた地域のつながり、支え合い、例えば単純に顔見知りが増えるということだけではなく、高校に行きまして、様々な防災についてのお話を地域の方がしてくださるとか、公道でパトロールをするとか、通訳が必要なときに紹介をしてくださるとか、地域での花火大会、それから北中野中学校では試験前に勉強会を行って地域の方が見てくださるとか、避難所開設訓練に参加できる。それから本校におきましても、様々な学校におきましても、ボランティアをするときに高校生が来てくれる、そういったことが非常に多く行えるようになっております。

小学校・中学校がただ単に連携するだけではなくて、中学校区の校区懇談会においてその連携が深まるとともに、もっと多くの皆様方にこの小学校・中学校3校を支えていただいて、その中で一つの方向性を持って同じ方向性を持って子どもたちを育てていける、そういった地域になっているというふうに思っております。

私からは以上です。

田辺教育長

戸崎校長先生、どうもありがとうございました。

とてもビジュアルを生かして、紹介していただいたので、具体的な取組も十分理解することができました。北中野中学校の関校長先生、何か中学校の取組で補足することがあれば、お願いいたします。

北中野中学校 関校長

北中野中学校の校長の関でございます。よろしくお願いいたします。

今、ほとんど戸崎先生に説明していただいたので、あまりないのですが、やはり本校で、やってきまして一つ課題があったのは、本校の生徒は上鷲宮小学校とそれから武蔵台小学校と同時に、同じような率で西中野小学校の子どもたちが来るということがありまして。但し、校区で区切っているところは、区も今、課題だとおっしゃっていましたが、やはりどうしても西中野小学校に対して対応が薄くなってしまうというのがあります。本年度からですけれども、今年は、オープンキャンパスは全て西中野小学校も子どもたちに来てもらって同じようにやっておりますし、部活体験なんかも同じようにやっております。

それからもう一つ、先ほど区の課題として、小中連携と同時に幼稚園との連携で、中学校にとっては今の子どもたち、異年齢の子どもたちと付き合う機会が本当に少ないと。小学生の弟・妹は結構いるのですけれども、幼稚園になるとほとんどいないのです。やはり、中学校の教育課程の中に、家庭科では保育体験、幼児体験というのがあるのです。たまたま近くにかみさぎ幼稚園さんがあるので、本校、必ず年に2回ぐらい行かせていただいて、子どもたちが大変喜んで帰ってきますし、それからまた、地域で会うと「北中のお兄ちゃん」みたいな感じで言われるということで、これもこれで小中連携だけではなくて、幼稚園とも連携ができていかなと思っています。

それから、中学校では、部活動があるのですが、部活動も本校、体育館はもちろん一つしかありますので、本校は運動部だけでも七つぐらいありまして、活動場所の関係がありまして快く小中連携、地の利を生かして武蔵台小学校とそれからかみさぎ幼稚園さんに体育館をお借りしております。その中で、ただ単に借りるだけではなく、身近に子どもたちが行って練習していますので、それで部活体験以外にも気軽に経験していただけるというところもあります。教員は教員である子がうちの学校に来たら絶対この部へ入れるみたいな、早くも青田買いではないですけれども、そんなのをやっているところもあり、また、吹奏楽部なんか武蔵台小学校は非常に盛んなので、一緒にジョイントコンサートを試みたり、ただ単に小中連携と、学習面だけではなくて、様々な角度で、それも幼稚園も含めてなるべく地域の方々とかかわって育てていただくという形でやっております。

以上でございます。

田辺教育長

ありがとうございました。堀校長先生、もし補足があれば、お願いいたします。

堀校長

特に補足はないのですが、私はこの4月に上鷲宮小学校に着任しました。小中連携が盛んなところで、私もすんなり入れたなと思っています。それは、校長交流がとてもよかったなというふうに思っているのです。

お2人の校長先生方にたくさんの情報をいただきますし、いろいろなことを教えていただきました。異動となるとちょっと戸惑うこともあるかもしれませんが、私は小中連携に関しては、特に戸惑うことはなかったなと思っています。それは、やはり去年の礎があったのではないかなと思っています。本校でも、決まりについては大々的に掲げていて、こういう生活と決まりはしっかり守るのだということを徹底して行っているところでござい

ます。それは、中学校に行ってから惑わないためです。

それから、先ほど道徳の話がありましたけれども、三つのグラフの中でありましたけれども、やはりそこを中心に道徳地区公開講座でも重点目標としてやっているところがございます。交流とかはまだまだこれから盛んになればいいかなと思っているところがございますが、昨日北中野中の文化祭に行かせていただいて、私はとても大きな感銘を受けました。とてもすばらしいと思いました。それを学校に戻ってきて職員に伝えますと、プログラムがあって、プログラムに書かれている指揮者とか演奏者の名前を見て、ああ頑張っているのだなという感想をもって、よかったなと思っているところがございます。ますますこれから小中連携が盛んになればいいかなと思っているところがございます。

以上です。

田辺教育長

ありがとうございました。

それでは、続きまして地域で活動されている方々にもお話を伺いたいと思います。私からご紹介をさせていただきます。

初めに、北中野中学校父母と教師の会の会長、小野未央さん、よろしくお願いいたします。こちらからマイクを用意いたしますので、ご発言は着席したままでお願いします。よろしくお願いいたします。

小野会長

ご紹介いただきました、北中野中学校父母と教師の会、会長、小野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

先ほど、武蔵台小学校、戸崎校長先生のすばらしいプログラムのほうで、いろいろ活動が出ていたと思うのですが、ちょうど北中野中学校の校区の地区懇談会で、先ほど関校長先生もおっしゃいましたように懇活パーティーがございまして、そこでいろいろなつながりを持たせていただきました。北中野中学校の父母と教師の会という立場で、小中連携と地域ということでお話をさせていただくと、その中にあるところで先ほども申し上げましたが、まず一番トピックになると思うのは合同パトロールだと思います。こちらは今、私の隣におります前会長、渡辺会長が平成27年度に始めていただいたものです。私もそのときに役員として参加しておりましたが、まず、この地域、西中野小学校を含めまして校外委員会という委員会がございまして、そこで個々に防犯活動はやっているのです。ただ、それがどのように行われているのか、それが合同でできるというチャンスはないのだろう

かというところを探るところから始まりました。

平成 27 年度は、北中野中学校区小中合同ということで一度会議を設けまして、野方警察署の方にもご参加いただきまして、各校の活動の様子を聞いた上で、近隣の防犯の要になるような箇所、実踏で、全体で回って危ない箇所を共有したのです。

そこで、小中合同の防犯週間というのを、まずやってみようという形になりました。各小学校の P T A、中学校 P T A もですけれども、活動が非常に多岐多様にわたっておりまして、また更に何か上乘せするのは難しいだろうということで、日々生活の中でできることということで、私なんかも今日持っていますけれども防犯の腕章ですとかベストを着用して、常に小学校の P T A さんなんかはやっていらっしゃるのですが、さらに強化して、その週だけはそういう活動を全体でやっていきますというのを明示してやろうということで出発しようというふうになりました。

まず、この小さい活動を積み重ねていくことが大事だろうということで始めまして、平成 28 年度では先ほどの校長先生のお話にもありましたように、都立武蔵丘高校の P T A にも活動にご賛同いただきまして、その週間に参加していただきまして、今年度に関しましてはかみさぎ幼稚園みどり会の方にもご賛同いただきまして、幼小中高ということで連携の合同パトロール週間というのを年間 3 回させていただいております。

実際、これはどうなのだろうなと思ってしまったのですが、小学校の P T A の役員さんなんか聞き取りをしましたところ、これをやる意味が非常に大きいと、非常に意識付けになるということで、この活動を草の根というか、地道な活動ではありますが、今後も継続的にさせていただきたいと思います。これも地区懇談会で各小学校 P T A の会長さんとかにお会いして、お話し合いができたということが非常に大きな収穫だったかなと思っております。

あともう一つ、そこに先ほど戸崎校長先生からもお話しいただいた、花火大会とかということなのですが、これはもともと北中野中学校の父母と教師の会の渡辺会長が、それも主導でまずは P T A 主催でやろうということで去年やったのですが、いろいろな今後のことを考えても、もう少し規模も大きくしてやってみようか、そういうときにやはり P T A の活動としてやるにはどうしても負担が大きいというか、だったら外に出てしまって O B として活躍している、地域で活躍している渡辺さんを実行委員長として立てて、実行委員会形式でやったらもうちょっと規模も大きくていろいろな面で目が配れる、それで P T A も参加しやすいものになるのではないかと思って、今年度は、こちら学校も学校の協力を得ま

した。北中野中学校でやるサイエンス・フェスタという、夏休みの近隣の小学生を招いたイベントの同日にぶつけることで開催をさせていただきました。そのおかげでしょうか、サイエンス・フェスタのほうも非常に大盛況でした。なぜならば、サイエンス・フェスタに行かないと花火大会に出られないよというふうにしたのです。そこでチラシを配りまして、このチラシを持ってきたらこれが入場券ですということでもさせていただいたら、どちらも盛況で、まだいろいろイベントとしての課題は大きかったのですが、先ほどもありましたように小中の連携教育、学校への希望とか保護者の不安とか、そういうところを払拭するための一途になればいいのではないかなというように思っております。課題は多いですよ。

あと、試験前勉強会というのもあったのですが、これもやり始めたのは、当時の役員が放課後に子どもたちが塾に行く前にぶらぶらしているからやってみようというところから始まったのですが、その役員もいなくなってしまう。それを継続していくには難しいということで、これも地区懇談会で参加している「634キッズ応援隊ぴよこたん」という、放課後子ども教室推進事業を平成28年度からとりまして、地域で請け負って継続的にやったほうが役員の負担は減るし、ぴよこたんも事業がふえるということで、ウインウインだったので、地域で引き受けて放課後学習室という形で継続して、今年度もさせていただいております。もちろん、学校にも非常に多大なお世話になっておりますが、そのような地区懇談会が非常に大きな成果を果たしてくださって、いろいろつながりになっています。これがあったからみんなの顔が見えて、また、直接お話しできる関係ができていうことで、小中、それこそ戸崎先生も何度もおっしゃっておりますけれども、小中だけにかかわらず、幼小中、保育園も入ってくるといいなと思いますけれども、保幼小中高まで多岐にわたる連携で、この一帯の子どもたちの健全育成に携わっていて、また、学校の、言われているいろいろな負担を軽減できるような活動に、この地域は若いのもうちよつと成熟していけばいいのではないかなと思っております。

以上です。

田辺教育長

ありがとうございました。

引き続き、様々なイベントの仕掛け人の、同じく北中野中学校父母と教師の会の前会長、渡邊肇さん、よろしく願いいたします。

渡邊前会長

私が話そうとすることは今、全て話していただいて。お話しすることは何もないと、いうことはございません。

ほとんど私がやったきっかけとなっているのは、当時小野もそうだったのですけれども、次世代育成委員を年に2回開催していただいて地区懇談会も。地区懇談会で全ての校長先生、高校の校長先生もいらっしゃいます。そして町会の方もいらっしゃいます。そして地区委員の方もいらっしゃいます。いろいろな方がそこで顔を合わせていろいろ話し合う、そこで本当に全て始まったと思います。

結局、これは地域連携なのです。小中連携、そして地域との連携。そこから始まりました。本当にこの地域というのはそういった連携がうまくとれているのだなと思います。何か私たちが提案することを後押ししていただいて、もちろん地域が小学校、中学校に求めることを校長先生が後押しして何かやっていくと。例えば、この地域のお祭りとか、夏も秋も地区祭りがあるのですけれども、そこに小学校そして中学校からボランティア、そして吹奏楽の方、そういったことを本当に協力し合っている。とても話しやすい、そういう地域だと思います。校長先生たちも仲がよろしくて、そこでふと考えて、「じゃあPTAも仲よくしよう」ということで、年に何回か校長先生、副校長先生、そしてPTAの会長が懇親会をしたり、本当に風通しのよい地域だと思います。

花火大会は去年は中学生だけだったのですけれども、小学生を招いて科学の楽しさ、そういったのを丸1日かけて伝えようというサイエンス・フェスタが去年あたり少し人数が少なかったもので、先生と話をして、花火大会もどうせならサイエンス・フェスタのときにやって、小学生が来たら、小学生たちも招いてあげればいいのではないかといたら、すごい数が集まってしまうようになって、規制しなければいけないなと思っているところです。そういったところで北中野中学校、武蔵台小学校もそうなのですけれども、武蔵台小学校も小中連携のもととなるのはウィンターコンサートというのがございまして、吹奏楽団がやっているのですけれども、それをだんだん大きくして中学校の吹奏楽部を招き、そして今度は高校も招く。本当にすばらしい連携がとれた地域だと思います。それは校長先生、そして先生方、そしてPTAがつくり上げていったものだと思います。そして、もちろん地域の方々からの後押しによってできている、私も中P連で毎月1回、会合があるので、こんなことを話すとうらやましがられる地域でございます。もちろんこれだけに終わらずに、もっと連携を積み重ねていって、文教地区と言われるこの地域をすばらしいものにしていきたいと思っております。

以上でございます。

田辺教育長

どうもありがとうございました。

続きまして、上鷺宮地区委員会委員長、星川真喜子さん、よろしくお願いたします。

星川委員長

上鷺宮地区委員会委員長の星川です。よろしくお願いたします。

私はこの地域の特性というか、そういうものについてお話ししたいかなと思います。

ここの地域には武蔵丘高校、それから武蔵台小学校、北中野中学校と三つの学校が並んで建っています。ですけれども、これは偶然ではなく、当時、武蔵台小学校を開校するときここに住んでいらした初代武蔵台小学校の会長が仲間を集めて奔走してくださったのです。ここを日本一の文教地区にしたいのだということで奔走してくださって、地主さん、それから役所にかけて、武蔵丘高校の隣に武蔵台小学校を開校させていただいたという経緯がございます。その後、数年して今度は北中野中学校が開校するというときに、またその彼が奔走してくださって、これも地主さんと交渉し、北中野中学校開校にこぎつけたという。この3校並んでいるのは決して偶然ではないのです。

そういう思いのもとに、この3校が並んで建っている。そして、中野区が始めた地区懇談会、後に地区教育懇談会となり、また地区懇談会と名前を変えているわけですが、それが生まれたとき、そういう土壌の中で青少年育成地区委員会が40年前にここで生まれました。青少年育成鷺宮地区委員会からここは独立しています。それはやはり、広範囲のところではなかなかその地域の特性を生かした活動ができないということで、上鷺宮だけで独立しようということで、40年前に独立いたしました。その独立した上鷺宮地区委員会を行ったことが、この5校連絡会というものを行ったのです。5校連絡会というのは、ここに高校が二つありました。それから、中学校そして生まれたばかりの上鷺宮小学校と武蔵台小学校、この5校で連絡会を開いたのですけれども、それは地区委員会の提唱からだったのです。

それはなぜかという、小学生から中学生になるときに連携が切れてしまう。そこに子どもを育てる上で、これではいけないのではないか、連携を密にしないといけないのではないかということで小学校の生活指導の先生、もちろん校長先生もなのですから、それから高校の生活指導の先生とか、地域の者が皆、本音で話し合える会を開こうではないかということで、5校連絡会が開かれました。その後、北中野中学校区として各校区ごと

の地区教育懇談会が、区のほうを変えていったのがその1年後なのですけれども、それに先んじて連携が大切だということに気が付いたということで、そこからこの地域は非常に連携を密にしてやってきた地域なのです。5校連絡会が発足して1年後には幼稚園も加わりました。なので、幼小中高の連携がとれている地域ということで、今まで来ております。

私たち地区委員会がやっている行事を一つ紹介しますと、11月3日にソフトボール大会を行います。このソフトボール大会も地域の中でばらばらにやっていた、スポーツ大会、そして、子ども会、町会などがばらばらやっていたものをまとめたのが地区委員会でも行っているソフトボール大会なのですけれども、これはその当時小学生だった子どもたちが今、大人になって一般男子の部だけで参加しているという、私もこれはすばらしい活動だなと思うのですけれども、ここで育った子どもたちが大人になってそしてこの地域に戻ってきて、そして一緒に子育てをするという初代の委員長の夢が今、かなっている。本当にみんな戻ってくるのです。11月3日に、一般男子の部だけで今年24チーム出ます。大人になって就職して働いて、地方に転勤しても、11月3日には皆さんここに戻ってきて、ソフトボールを楽しむのです。そして地域に戻ってくる人もたくさんいます。ここで子育てをなさる方がたくさんいらっしゃいます。地域全体で子どもを見守る、子どもの成長を、年齢を途切れさせないで子どもたちの成長を見守っていくという土壌が、この地域にはあると思うのです。そういう中での小中連携教育というのは、本当に地区委員会としてもうれしいと思っております。

以上です。

田辺教育長

どうもありがとうございました。

先ほどご説明をさせていただきましたように、今年度から小中連携教育の発展期ということで、今後これをどのように進めていくかということが教育委員会としての課題にもなります。地域の方々に今お話をご紹介いただきましたように、学校の教育だけでなく地域全体で中学校区を単位として連携して進めていきたいというふうに教育委員会では考えております。

こうした背景を踏まえまして、教育委員の各委員から、今後の展開についてご意見やアドバイスなどがありましたら、協議を進めていきたいと思うのですけれども、ご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

田中委員

地区の報告、本当にありがとうございました。よく中野でほかの地域の方から言われるのですけれども、東京都でもほかの地域で、小中一貫校で小中連携を図っている地域もあります。中野は何でそうしないのですかと声をときどき聞くのですけれども、今日この小中連携のお話を伺っていると、こういうやり方のほうが広がり大きいのかなとすごく強く感じました。

先日、報告させていただいたのですけれども、国も今、子どもたちのために地域コミュニティの整備というのを非常に大きな課題として取り上げています。その中で二つ柱があって、一つは異年齢との交流、それからもう一つは多くの大人に見守られて育つ環境づくりと、その二つが国の大きな施策になっているのですけれども、きょう皆さんのお話を伺っていると、もうそれをそのまま具体化されているように感じました。

今、教育長が話されましたが、これから発展期ということですから、この地区のこの活動が中野全体に広がっていけばいいなと考えていますので、今後ともぜひこの動きをさらに充実させていただきたいというふうにお願いします。

以上です。

田辺教育長

ほかにご意見やご質問、ご発言ございましたらお願いいたします。

渡邊委員

ありがとうございました。とてもすばらしいお話を伺えました。普通に物事を考えていくときに、連続性がスムーズであるほど何事もうまくいくというのは当たり前であって、連携プレーが図られればどんなスポーツなんかにおいてもうまくいく。そういうことを考えれば、全てにまず連携が大切であることは、何事の物事にも一緒だなということは確実にわかるわけですけれども、その中で、やはりリーダーとなる人たちがまずイニシアチブをとっていただかないとまらない。そこで、この地域の一番すばらしいところは、まず学校のトップである校長先生たちが仲良しだと。校長先生から仲良しなのですよという言葉がまず最初に出ただけで、この地域はうまくいくなと。そして、PTAの会長さん、また地域の方が非常に仲がよいのですという形で頻繁になっている。私は医療関係なので、医療においても必ず連携というのをものすごく大切にしているのです。小さな診療所から大きな病院、さらに大きな病院と、必ず一番大きな病院に行ったからいい医療が受けられるかというところというわけではないのです。やはりその連携があって、それぞれの役割を

最大限に活用するというのが一番いいことだと思います。

更によくなっていくためにみんなが努力して行って、それで先ほども言われたように最初の願いがかなってきた、ソフトボール大会も最初は3チームかもしれないけれども、今24チーム。これはやはりちょっとずつ増えていくと、それがこういった連携とか地域の形で、すぐに答えを求めるのではなくて、必ず数年後、数十年後にこの結果が生まれてくるという証明みたいなものだなと思いました。

「懇活」と言葉をもじったのがとてもおもしろい。こういうのは親しみやすくなるので、こういった形で取り組んでいくのはとてもいいなと思います。どうしても行政とか堅い入り口ではなかなか入りにくい。試験前勉強会、地域との活動としてこういったものが生まれるということは、とてもいいことだなと思っています。今、塾で勉強するという形もあるのですが、本来も勉強するときは結構勉強会というのをやるのです。1人ではなかなか勉強ができないとか、それで集まって勉強するとか、それと必ずしも全ての子が勉強する機会を持っているかと。そういうこともあると思うのです。ですから、試験前ではなくても放課後勉強会とか、そういう形で宿題をやらうよとか、そういったことの積み重ねが習慣になって、そして学力向上にもつながっていくのだらうと思っています。

一番最初に指導室長が書かれていたように、ちょっと表があったのですが、地域連携があったときに達成率70%を目指して頑張っているのですが、中野区の4年間の取組における成果ということで、学力調査です。でもこれは本当にすごいこと。全部の生徒がある程度決められたカリキュラムを、果たして70%以上クリアできる生徒の数がじわりじわりと上がってきているのではないですか。これもまだ足りないと言われればそうかもしれないのですが、一歩一歩進んでいる成果が明らかに見えているということを感じていただいて、ますますの地域連携の中野区のリーダーとして、この上鷲宮地域に頑張りたいなと思っています。

本当にいろいろとありがとうございました。

田辺教育長

品川区で小中一貫校の経験もおありの小林委員、いかがでしょうか。

小林委員

今日はどうもありがとうございます。

武蔵台小学校を中心にした3校の取組を今、ここで発表を伺って、本当によくやっただいています。それぞれ地域の実態とか、学校の実態とか、様々いろいろあ

と思うのですけれども、その中で最大限に工夫されてやっけていらっしやるなと思います。

あえて今後に結びつくということで、お話をさせていただくと、これから先、進めていく際には今までのものをあまり気にしないで、既存の枠を取っ払うような、今までこんなことはやっていなかったのだけれども、こういうことをやっけていいのかなぐらいの。逆に言うと、事務局がそれはちょっと困るぐらいの、それぐらいの発想で新しいことにどんどんトライしていただきたいなど。この辺が実は小中連携の大きな狙いで、今までを否定するのではなくて、今までのいいものはいいのですよね。ですから、更に、もしかしたらこの中学校の1と小学校の2、1足す2は普通は3なのですけれども、1足す2をやっけたら4にも5にも6にもなるという、そういうものが小中連携教育のよさだと思うのです。ですから、これからは柔軟にいろいろなものにトライしていただく、今までこういうことをやっけたからこれをルーチンでやっけていけばいいやというのではなくて、どんどん新しいものを取り入れてほしいと思います。

それからもう一つは、これは逆のことを言うようなのですけれども、それぞれの小学校が築いてきたもの、中学校が築いてきたもの、それからこの地区が築いてきたよさと、これはやはりいいものは大切にするというのですか。ちょっと矛盾した言い方なのだけれども、要するによく不易と流行といいますけれども、変えるべきところは変えていくし、でも従来から残っているいいものは、それはそれで大事にしていく、そのバランスというのでしょうか、峻別というのですか。ここら辺はぜひお願いします。

ですから、何か小中連携をやると何でも一緒がいいでしょうというのですけれども、違いがいいという考え方もあるわけですよね。逆に言えば、ゼロか100かではなくて両方それぞれいいわけですから。でも、少しでもプラスが多くなるようなことで、今までと違うことをやっけてみましょうということだと思いますので、ぜひこれからも、今までの取組に学校も地域も保護者の方も密かな自信を抱いていただいて、力強くこれからも思い切り新しいものをやるといって、そういうお気持ちをぜひ持っていただきたいなと思いました。

以上です。

田辺教育長

小中連携教育を始めまして、もう数年たっているわけで、本当に教育委員会で目指した成果というのをこの地域で体現していただいているなという気がするのですけれども、冒頭、指導室長が、教育ビジョンを改定もしたのでしたのですけれども、この経験を踏まえて中野区としては保幼小、就学前の時期からきちんと連携して小学校にもきちんと連続して通える

ような、あるいは小学校の教員、学校が幼稚園や保育園で学んできたこと、育ててきたことを受けとめられるようなそういう取組も今後進めていきたいと思っています。

ただ、ご承知のように保育園などは、今は私立も非常に多くなってきていて、なかなか連携が届きにくいところがあるのですけれども、そういうところを補っていただけるのがやはり先ほどご発言にもありましたように、地域の方々が見つないでいただくということも力を期待したいなと私どもは思っておりまして、そうした教育委員会の取組をぜひこれからも地域の方々に支えていただけるような、そうした地域との連携というのも教育委員会として進めていきたいと思っています。

ほかに、先生方のほうから何か補足の発言等ございますか。

田中委員

大きな話の後で、ちょっと細かい話で。お願いなのですが、先ほど給食の時間が中学校で30分で、小学校も短くするよというお話がありましたけれども、今、子どもたちが朝御飯もなかなか食べる時間が短くて、夜も家族で食べる時間が短くなるということが非常に課題になってきていますので、学校給食でもなるべく全体の時間は短くなくても配膳とか後片づけを工夫して、子どもたちが実際に食べる時間をぜひ、仲間とじっくり味わって食べるという時間を確保していただけるように。これはお願いします。

田辺教育長

ほかによろしいでしょうか。

それでは、ここで会議を一旦休憩して、傍聴の方からもご発言をいただきたいと思います。今の、教育委員の皆さんのご意見も踏まえまして、ご意見やあるいはご要望、お考えなどを伺いたいと思います。

それでは、会議を休憩いたします。

午前11時04分休憩

午前11時17分再開

田辺教育長

会議を再開いたします。

本日は、戸崎校長先生からこの地域の小中連携教育についてご報告いただきまして、それを支えてくださっている地域の方のご発言もいただきました。知り合いをどんどん増やすということが基本になるということでは、田中委員がお話しになった地域コミュニティのこれからの新しい活性化とか、強化ということも課題になってくると思っています。

また、最後にご発言がありましたように、保幼小中高という連携も、これから教育委員会としても力を注いでいきたいと思っています。様々課題はありますけれども、これからも教育委員会として区民の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

本日は、校長先生初めPTAの皆さん、地域の皆さん、また更に傍聴されている皆さんからも様々なご意見をいただいております。今後、教育委員会として理念であります「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」ことの実現に向けて、幼児期からの連携した教育に取り組んでまいりたいと思っています。特に、地域の方々のご協力によって進めていきたいと思っています。

本日は、大変有意義な会議として進めることができました。今後の教育行政に十分に参考にさせていただきたいと思っています。

それでは、本日の協議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

最後に、事務局から、次回の開催についてご報告をお願いします。

副参事（子ども教育経営担当）

次回の開催でございますが、10月27日の金曜日、10時から中野区役所5階、教育委員会室で開催を予定しております。

以上でございます。

田辺教育長

以上で本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして、教育委員会第27回定例会を閉じます。どうもありがとうございました。

午前11時30分閉会